



2月10日(水)に五中で、府中市の魅力を探る地域学習の公開発表会が行われました。1年生のけやきっ子が、総合的な学習の時間で「郷土府中の課題を発見し追求する」をテーマに、府中市の歴史、自然、産業、市民サービスの4つの分野に分けてグループで研究してきました。自分たちの視点で考え



▲市内に出でフィールドワークを行いました

でグループごとに発表を行います。各グループの発表を聞いたあとは、みんなが意見を出し合っている内容

た、まちを良くするためのアイデアを、公開発表会で高野市長に発表しました。地域のことを調べるにあたり、まず、けやきっ子は分野別にグループに分かれ、市内の企業や商店街、公園などへ行き、それぞれの場所でインタビューを行います。それぞれの場所で聞き取りをした意見をもとに、各分野を調べてわかった府中の魅力や課題をまとめます。まとめるときは、けやきっ子自身がパソコンを使って発表の仕方工夫しました。内容がまとまると、クラスの中でグループごとに発表を行います。各グループの発表を聞いたあとは、みんなが意見を出し合っている内容



▲市民の方の意見をしっかりと聞き取ります

をまとめ、クラスごとに代表のグループを決めます。代表のグループが決まると、発表本番へ向けて資料をさらに工夫します。そしていよいよ発表当日。高野市長の前で代表の8グループが発表を行いました。けやきっ子からは高野市長へ「市内には介護の仕事をする人の数が少ないため、介護により興味を持ってもらえるセミナーを開いたり、給料を上げてはどうか」「市民同士が魅力を通じて交流し合える行事を作ると、市民自らが市を盛り上げる必要がある」「市内の名木100選の知名度が低いので、スタンプラリーなどを行ってみてはどうか」など、それぞれのグループから様々なアイデアが発表されました。高野市長は「皆さんと一緒にまちのことを考えて発展させてい

をまとめ、クラスごとに代表のグループを決めます。代表のグループが決まると、発表本番へ向けて資料をさらに工夫します。そしていよいよ発表当日。高野市長の前で代表の8グループが発表を行いました。けやきっ子からは高野市長へ「市内には介護の仕事をする人の数が少ないため、介護により興味を持ってもらえるセミナーを開いたり、給料を上げてはどうか」「市民同士が魅力を通じて交流し合える行事を作ると、市民自らが市を盛り上げる必要がある」「市内の名木100選の知名度が低いので、スタンプラリーなどを行ってみてはどうか」など、それぞれのグループから様々なアイデアが発表されました。高野市長は「皆さんと一緒にまちのことを考えて発展させてい

くことが大事だと思っているので、これだけ府中のまちを真剣に、具体的に考えていただき大変うれishi、励みになります」と感想を話してくれました。今回の学習を通してけやきっ子は「まちでの聞き取り調査を通して、改めて府中の魅力を感じることでできたよ。アイデアがいろんな場面で生かされるといいな」と感想を話してくれました。



▲高野市長へ堂々と提言を行いました